

全国月間火山概況（平成 23 年 11 月）

霧島山（新燃岳）では、今期間、噴火は発生しませんでした。新燃岳の北西地下深くのマグマだまりには深部からのマグマの供給が続いており、マグマだまりから新燃岳へ多量のマグマが上昇すれば、噴火活動が再び活発化する可能性があります。新燃岳火口から概ね 3 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

桜島では、昭和火口で爆発的噴火を含む活発な噴火活動が継続しました。昭和火口及び南岳山頂火口から概ね 2 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。火口周辺警報（噴火警戒レベル 3、入山規制）が継続しています。

三宅島では、やや多量の火山ガスの放出が続いています。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

諏訪之瀬島では、15 日にごく小規模な噴火が発生するなど、火山活動は活発に経過しました。火口周辺警報（噴火警戒レベル 2、火口周辺規制）が継続しています。

その他の火山の活動状況に特段の変化はありません。

12 月 7 日現在の各火山の噴火警報及び噴火予報等の発表状況は表 1 のとおりです。

表 1 12 月 7 日現在の噴火警報及び噴火予報等の発表状況

| 警報・予報 | 噴火警戒レベル 及びキーワード | 該当火山 |
|--------------------|--------------------|--|
| 火口周辺警報 | レベル 3（入山規制） | 霧島山（新燃岳）、桜島 |
| | レベル 2（火口周辺規制） | 三宅島、薩摩硫黄島、諏訪之瀬島 |
| | 火口周辺危険 | 硫黄島 |
| 噴火警報及び火山現象に関する海上警報 | 周辺海域警戒 | 福德岡ノ場 |
| 噴火予報 | レベル 1（平常） | 雌阿寒岳、十勝岳、樽前山、有珠山、北海道駒ヶ岳、岩手山、秋田駒ヶ岳、吾妻山、安達太良山、磐梯山、那須岳、草津白根山、浅間山、新潟焼山、焼岳、御嶽山、富士山、箱根山、伊豆東部火山群、伊豆大島、九重山、阿蘇山、雲仙岳、霧島山（御鉢）、口永良部島 |
| | 平常 | 知床硫黄山、羅臼岳、天頂山、摩周、アトサヌプリ、雄阿寒岳、丸山、大雪山、利尻山、恵庭岳、倶多楽、羊蹄山、ニセコ、恵山、渡島大島、恐山、岩木山、八甲田山、十和田、秋田焼山、八幡平、鳥海山、栗駒山、鳴子、肘折、蔵王山、沼沢、燧ヶ岳、高原山、日光白根山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカンダナ山、乗鞍岳、白山、利島、新島、神津島、御蔵島、八丈島、青ヶ島、ペヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海德海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山、三瓶山、阿武火山群、鶴見岳・伽藍岳、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |



図1 噴火警報発表中の火山

【各火山の活動状況及び予報警報事項】

全国の主な火山の活動状況及び予報警報事項は以下のとおりです。その他の火山については、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

日光白根山 【噴火予報(平常)】

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、日光白根山の西側及び北西側へ約5km付近、東側から南東側へ約5～10km付近での地震活動が活発な状況となっていました。その後、地震活動は低下してきています。今期間、震度1以上を観測する地震は発生しませんでした。火山性微動は観測されませんでした。

2日に実施した現地調査では、山頂やその周辺に噴気はみられず、地表面温度も日射により上昇した程度の温度で、特段高温域は認められませんでした。

直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

焼岳 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」以降、山頂直下～北西麓の浅い所での地震活動が活発化しましたが、その後、地震活動は低下してきています。25日08時21分及び26日00時41分に焼岳の北約5km付近を震源とするいずれもマグニチュード2.4の地震が発生し、岐阜県高山市で震度1を観測したほか、26日にかけて同領域で地震が一時的に増加しました。火山性微動や低周波地震は観測されませんでした。

直接噴火活動に関連するような変化は認められておらず、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

富士山 【噴火予報(噴火警戒レベル1、平常)】

3月15日22時31分に発生した静岡県東部(富士山の南部付近)の地震(マグニチュード6.4)以降、その震源から山頂直下付近にかけて地震が増加しました。その後、地震活動は低下してきています。25

日 05 時 14 分に静岡県東部（富士山の南部付近）を震源とするマグニチュード 2.7 の地震が発生し、静岡県富士市で震度 3 を観測しました。その他、今期間震度 1 以上を観測する地震が 1 回発生しました。深さ 15km 付近を震源とする深部低周波地震は少ない状況でした。火山性微動や浅部の低周波地震は観測されませんでした。

その他の観測データでも浅部の異常を示すものはありません。火山活動に特段の変化はなく、噴火の兆候は認められません。

伊豆大島 [噴火予報(噴火警戒レベル 1、平常)]

GPS 及び体積ひずみ計による観測では、2011 年 1 月頃より縮みの傾向が認められましたが、GPS の一部の基線では、10 月以降伸びの傾向が認められます。また、長期的には、GPS 連続観測によると、地下深部へのマグマ注入によると考えられる島全体の膨張傾向が継続しています。

北西外輪に設置してある遠望カメラでは、剣ガ峰付近や三原山山頂火口、三原新山北側などでごく弱い噴気が時々観測されました。25 日に実施した現地調査では、三原山山頂火口内及びその周辺でごく弱い噴気が引き続き確認されましたが、三原山山頂火口内にある中央火口の最高温度、中央火口内の地表温度分布、その他、三原山山頂周辺の噴気温度に特段の変化は認められませんでした。

火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。

三原山の噴気の状態及び熱活動には特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。

三宅島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル 2、火口周辺規制)]

山頂火口からの噴煙高度は、火口縁上 100~300m で経過しました。

1 日及び 24 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は、一日あたりそれぞれ 500 トン及び 800 トン（前月 10 月 17 日及び 25 日、それぞれ 700 トン及び 900 トン）で、やや多量の火山ガス放出が続いています。三宅村によると、山麓では時々高濃度の二酸化硫黄が観測されています。

火山性地震は少ない状態が続いています。震源は山頂火口直下に分布しており、これまでと比べて特に変化はありませんでした。

12 日 02 時 52 分頃に振幅の小さな火山性微動（継続時間は約 60 秒）が発生しましたが、空振は観測されず、降灰も確認されませんでした。

全磁力連続観測では、火山体内部の熱の状況に大きな変化は見られませんでした。

GPS 連続観測によると、2000 年以降、山体浅部の収縮を示す地殻変動が継続しています。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、山頂火口周辺（雄山環状線内側）では噴火に対する警戒が必要です。また、火山ガス予報で火山ガスの濃度が高くなる可能性があるとして予想される地域では火山ガスに対する警戒が必要です。

硫黄島 [火口周辺警報(火口周辺危険)]

16 日から 18 日にかけて海上自衛隊の協力により実施した現地調査で、島西部の阿蘇台陥没孔^{あそだいこんぼつこう}では、前回（2011 年 1 月 29~30 日）の観測時と比べて、孔内の水位が上昇していることを確認しました。赤外線熱映像装置による孔底の観測では、泥水の温度は前回（2011 年 1 月）同様、約 100℃と推定され、間欠的な熱水の噴出を確認しました。孔内からの泥水の噴出に伴って立ち上る噴気の高さは、孔の上端から最大約 20m でした。

東山噴気・地熱地帯では、前回（2011 年 2 月 16 日）同様、高温域を確認しました。地表面から約 10 cm の表層地中温度を測定したところ約 100℃と、前回と変化はありませんでした。

なお、金剛岩、硫黄ヶ丘及び摺鉢山など、その他の地域では、噴気の状態及び地熱等の状況は、前回（2011 年 1 月）の現地調査で確認された熱活動と特段の変化は認められませんでした。

地震活動は今年（2011 年）2 月末頃から比較的活発な状態が続いています。

国土地理院の観測によると、2006 年 8 月に始まった島全体の隆起を示す地殻変動は、2010 年 11 月中旬頃から 12 月にかけて一時鈍化しましたが、2011 年 1 月末頃から隆起速度が増加し、現在も続いています。また、島の南部で大きな南向きの変動がみられます。

火口周辺に影響を及ぼす噴火が発生すると予想されますので、これまで小規模な噴火が発生した島東部の海岸付近、島西部（井戸ヶ浜等）及び南東沖（翁浜沖）では噴火に対する警戒が必要です。

福岡ノ場 [噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報]

16日に海上保安庁海洋情報部が実施した上空からの観測によると、福岡ノ場付近の海面に変色水は確認されませんでした。

17日に海上自衛隊の協力により実施した上空からの観測では、福岡ノ場付近の海面に前回(2011年1月28日)確認された変色水は確認できませんでした。また、前回同様、浮遊物も同海域において確認できませんでした。

なお、海上保安庁海洋情報部、第三管区海上保安本部、海上自衛隊及び気象庁によるこれまでの観測によると、福岡ノ場付近の海面には長期にわたり火山活動によるとみられる変色水等が確認されており、今後も小規模な海底噴火が発生すると予想されますので、周辺海域では噴火に対する警戒が必要です。

霧島山(新燃岳) [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

新燃岳では、今期間、噴火は発生しませんでした。白色の噴煙が火口縁上概ね100m(最高高度は300m)の高さで経過しました。

8日と15日に海上自衛隊第72航空隊鹿屋航空分遣隊の協力を得て実施した上空からの調査では、新燃岳火口内に蓄積された直径600m程度の大きさの溶岩に特段の変化はなく、主に溶岩の東側及び北側から、白色の噴煙が上がっているのを確認しました。8日の調査では、2008年8月の噴火時に形成された西側斜面の割れ目から白色の噴気が数m上がっていましたが、15日の調査では確認されませんでした。赤外熱映像装置による観測では、地表面温度分布に大きな変化はなく、火口内に蓄積された溶岩の縁辺が比較的高温な状態でした。また、2008年8月の噴火時に形成された西側斜面の割れ目の一部にやや温度の高い部分が認められました。

火山性地震の月回数は800回(10月:653回)と、やや多い状態で経過しました。震源はこれまでと同様に、主に新燃岳付近の海拔下0~2kmに分布しました。

振幅のごく小さな火山性微動が2回発生し、継続時間の月合計は1分(10月:1分)でした。

国土地理院のGPSによる地殻変動観測では、新燃岳の北西数kmの地下深くのマグマだまりへのマグマの供給を示す変化が続いています。傾斜計では、火山活動に伴う特段の変化は認められませんでした。

21日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり300トン(9月:300~2,200トン)と少ない状態でした。

新燃岳火口から概ね3kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石(火山れき)に注意が必要です。これまでの噴火では、風に流されて直径4cm程度の小さな噴石(火山れき)が新燃岳火口から10kmを超えて降りました。また、爆発的噴火に伴う大きな空振に注意が必要です。噴火警報等及び霧島山上空の風情報に注意してください。降雨時には泥石流や土石流に警戒が必要です。降雨に関する情報に注意してください。

桜島 [火口周辺警報(噴火警戒レベル3、入山規制)]

昭和火口では、噴火の回数が78回(10月:122回)と活発な噴火活動が継続しました。そのうち爆発的噴火の回数は57回(10月:91回)でした。14日01時39分、15日02時29分の爆発的噴火では、大きな噴石が3合目(昭和火口から1,300m~1,800m)まで達しました。噴煙の最高高度は、火口縁上2,000mでした。火砕流は、確認されませんでした。

同火口では、夜間に高感度カメラで明瞭に見える火映を時々観測しました。

南岳山頂火口では、噴火は発生しませんでした。

火山性地震は、一日あたり2~40回と少ない状態で経過しました。月回数は471回(10月:489回)でした。震源は、南岳直下の海拔下約4kmでした。

噴火に伴う火山性微動が発生しており、月回数は328回(10月:410回)で、継続時間の月合計は36時間21分(10月:145時間01分)と前月と比べて減少しました。

14、24日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり1,200~3,200トン(10月:1,500~2,500トン)と多い状態でした。

有村観測坑道の水管傾斜計(大隅河川国道事務所設置)では、特段の変化は認められませんでした。

GPSによる地殻変動観測では、2011年初め頃から島内の観測点間の距離がわずかに縮む傾向がみられましたが、9月頃から伸びの傾向に転じています。また、国土地理院のGPSによる地殻変動観測では、始良カルデラ(鹿児島湾奥部)深部の膨張による長期的な伸びの傾向がみられます。

昭和火口及び南岳山頂火口から概ね2kmの範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及

び火砕流に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。降雨時には土石流に注意が必要です。

薩摩硫黄島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

硫黄岳山頂火口の噴煙活動はやや高い状態で経過しました。白色の噴煙が、最高で火口縁上 600mまで上がりました。

火山性地震の発生回数は、月回数は 159 回（10 月：169 回）と少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした（10 月：2 回）。

26 日に実施した赤外熱映像装置による観測では、前回（2008 年 4 月）と比較して、地表面温度分布に特段の変化は認められませんでした。

26 日に実施した現地調査では、二酸化硫黄の平均放出量は一日あたり 800 トンでした。

火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では噴火に対する警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

諏訪之瀬島【火口周辺警報(噴火警戒レベル2、火口周辺規制)】

御岳火口では、爆発的噴火は発生しませんでした。15 日にごく小規模な噴火が発生し、灰白色の噴煙が火口縁上 600mまで上がりました。十島村役場諏訪之瀬島出張所により、同日、御岳の南南西約 4 kmの集落で降灰が確認されました。

同火口では夜間に高感度カメラで確認できる程度の微弱な火映を時々観測しました。

火山性地震は、少ない状態で経過しました。

火山性微動は、継続時間の月合計が 28 時間 30 分と、前期間（10 月：18 時間 51 分）に比べて増加しました。

今後も火口周辺に影響を及ぼす程度の噴火が発生すると予想されますので、火口から概ね 1 km の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒が必要です。風下側では降灰及び遠方でも風に流されて降る小さな噴石に注意が必要です。

（火山の順は活火山総覧（第3版）による）

資料1 全国の火山の噴火警報及び噴火予報の発表状況のまとめ（平成23年12月7日現在）

(1) 主な活火山

| | 火山名 | 噴火警報及び噴火予報の発表状況 | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴 |
|---------|---------------|---|--|
| 北海道地方 | アトサヌプリ | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 雌阿寒岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年9月29日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年10月17日 噴火予報（平常） 2008年11月17日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年12月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 大雪山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 十勝岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年12月16日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 樽前山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 倶多楽 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 有珠山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年6月9日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 北海道駒ヶ岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 恵山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| 東北地方 | 岩木山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 秋田焼山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 岩手山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 秋田駒ヶ岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年10月27日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 鳥海山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 栗駒山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 蔵王山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 吾妻山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 安達太良山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 磐梯山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） | |
| 関東・中部地方 | 那須岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 日光白根山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 草津白根山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年4月10日 噴火予報（レベル1、平常）切替 |
| | 浅間山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月8日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月7日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月15日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 新潟焼山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 焼岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 乗鞍岳 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 御嶽山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2008年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 白山 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 富士山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| 箱根山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2009年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） | |
| 伊豆東部火山群 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） 2011年3月31日 噴火予報（レベル1、平常） | |

| | 火山名 | 噴火警報及び噴火予報の発表状況 | 噴火警報及び噴火予報の発表履歴 |
|-----------|--------------|-------------------------|---|
| 伊豆・小笠原諸島 | 伊豆大島 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 新島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 神津島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 三宅島 | 火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） 2008年3月31日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
| | 八丈島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 青ヶ島 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 硫黄島 | 火口周辺警報（火口周辺危険） | 2007年12月1日 火口周辺警報（火口周辺危険） |
| | 福徳岡ノ場 | 噴火警報（周辺海域警戒） | 2007年12月1日 噴火警報（周辺海域警戒） |
| 九州地方・南西諸島 | 鶴見岳・伽藍岳 | 噴火予報（平常） | 2007年12月1日 噴火予報（平常） |
| | 九重山 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 阿蘇山 | 噴火予報 （レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2011年5月16日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年6月20日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 雲仙岳 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 霧島山 （新燃岳） | 火口周辺警報 （レベル3、入山規制） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年8月22日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月29日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年3月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年4月16日 噴火予報（レベル1、平常） 2010年5月6日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2011年1月26日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2011年1月31日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年2月1日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2011年3月22日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 |
| | 霧島山（御鉢） | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 桜島 | 火口周辺警報 （レベル3、入山規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年2月3日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年2月20日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年4月8日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年7月14日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年7月28日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2008年8月28日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年2月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年2月19日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年3月2日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月10日 火口周辺警報（レベル3、入山規制）切替 2009年4月24日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年7月19日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2010年9月30日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2010年10月13日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） |
| | 薩摩硫黄島 | 火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |
| | 口永良部島 | 噴火予報（レベル1、平常） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年1月25日 噴火予報（レベル1、平常） 2008年9月4日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2008年10月27日 火口周辺警報（レベル3、入山規制） 2009年3月18日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年8月4日 噴火予報（レベル1、平常） 2009年9月27日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） 2009年10月30日 噴火予報（レベル1、平常） |
| | 諏訪之瀬島 | 火口周辺警報 （レベル2、火口周辺規制） | 2007年12月1日 火口周辺警報（レベル2、火口周辺規制） |

注) 噴火警報及び噴火予報の発表履歴欄には、平成19年12月1日の噴火警報及び噴火予報の発表と噴火警戒レベルの運用開始からの経過を示す。
この表では、主な活火山として、警報を発表している、または常時観測を行っている火山を示している。また、ここで示すレベルは噴火警戒レベルである。

(2) その他の活火山

以下の活火山では平成 19 年(2007 年)12 月 1 日に噴火予報(平常)を発表し、その後、火山活動に特段の変化はなく、予報事項に変更はありません。

| | 火 山 名 |
|-------------------|--|
| 北海道地方 | 知床硫黄山、羅臼岳、天頂山*、摩周、雄阿寒岳*、丸山、利尻山、恵庭岳、羊蹄山、ニセコ、渡島大島、茂世路岳、散布山、指臼岳、小田萌山、択捉焼山、択捉阿登佐岳、ベルタルベ山、ルルイ岳、爺爺岳、羅臼山、泊山 |
| 東北地方 | 恐山、八甲田山、十和田、八幡平、鳴子、肘折、沼沢、燧ヶ岳 |
| 関東・中部地方 | 高原山、赤城山、榛名山、横岳、妙高山、弥陀ヶ原、アカシダナ山 |
| 伊豆・小笠原諸島 | 利島、御蔵島、ベヨネース列岩、須美寿島、伊豆鳥島、孀婦岩、西之島、海形海山、海徳海山、噴火浅根、北福德堆、南日吉海山、日光海山 |
| 中国・九州地方 及び南西諸島 | 三瓶山、阿武火山群、由布岳、福江火山群、米丸・住吉池、若尊、池田・山川、開聞岳、口之島、中之島、硫黄島、西表島北北東海底火山 |

* 天頂山と雄阿寒岳は、平成 23 年 6 月 7 日に活火山として選定され、噴火予報(平常)を発表した。